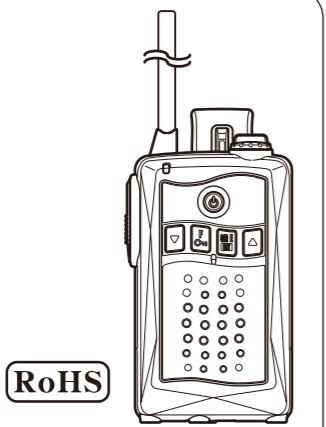


特定小電力ハンディートランシーバー
(総務省技術基準適合品)DJ-CH3
取扱説明書

本書には基本的な操作方法を記載しています。
拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。

アルインコのトランシーバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。本製品の機能を十分に発揮させ、効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。アフターサービスなどについても記載していますのでこの取扱説明書は大切に保管してください。また、補足シートや正誤表が入っている場合は、取扱説明書と合わせて保管してください。ご使用中の不明な点や不具合が生じたとき、お役に立ちます。本製品は免許・資格不要の特定小電力無線電話として、各種通信にお使いいただけます。

ALINCO株式会社 電子事業部

東京支店 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3-4 日本橋プラザビル14階 TEL.03-3278-5888
名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目10-19 サンエイビル4階 TEL.052-212-0541
大阪支店 〒541-0043 大阪府中央区高麗橋4丁目4-9 淀屋橋ダイヤビル13階 TEL.06-7636-2361
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目13-34 エコビル2階 TEL.092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは
お買い上げの販売店または、フリーダイヤル ☎ 0120-464-007

全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります。
受付時間 / 10:00～17:00 月曜～金曜 (祝祭日及び12:00～13:00は除きます)
ホームページ <http://www.alinco.co.jp/>「電子事業」をご覧ください。

使用前のご注意

■ご使用環境

高温・多湿、直射日光が当たり続けるところ、粉塵が多い場所は避けてご使用ください。

■分解しないで

特定小電力トランシーバーの改造、変更は法律で禁止されています。分解したり内部を開けることは絶対にしないでください。

■ご使用禁止場所

本製品は総務省技術基準適合品ですが、使用場所によっては思わぬ電波障害を引き起こすことがあります。次のような場所では使用しないでください。
(航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺)

本製品を使用できるのは日本国内のみです。国外では使用できません。
This product is permitted for use in Japan only.

■通信距離

通話できる距離は周囲の状況や取り付け方によって大きく異なります。

- 海上、山頂など条件のよい所 1km～2km程度
- 河原など障害物のない平地 500m～1km程度
- 見通しのよい道、郊外の住宅地 500m程度
- 市街地のような障害物の多い所 200m程度
- Low Power (1mW) での通信距離は半分以下まで短くなる場合があります。

注意 ・建屋内の縦階層間の通話はフロアが障害物になるため、直線では十数メートルの近距離であっても通話できないことがあります。このような場合は中継器を設置することで通話エリアを広げることができます。
・人体を含む障害物やアンテナの向き、歩くなど移動による影響を受けると、通話距離は半分程度まで短くなる場合があります。
・トンネルのような閉鎖的空間では UHF 電波伝播の特性により近距離でも通話できないことがあります。

■第三者による傍受

電波を使用している関係上、無線機器の通話は第三者による傍受を完全に阻止することはできません。そのため機密を要する重要な通話に使用することはお勧めできません。

■グループトーク機能について

従来製品とグループトークによる通話をおこなった際、受信音声が入切れることがあります。このような場合は違うグループ番号に設定変更して 通話をお試しください。

■バッテリーセーブについて

電池の消耗を防ぐ機能です。受信待ち受け状態で約 5 秒間キー操作がないとこの機能が動作します。信号を受信するか、キー操作がおこなわれるとバッテリーセーブは解除されます。バッテリーセーブ動作時に信号を受信すると、通話の始めが途切れる場合がありますが、異常ではありません。

安全上のご注意

本製品を正しく安全にお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損失を未然に防止するために必ずお読みください。誤った使い方で生じる内容を図記号と共に説明しています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	表示の意味
	警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

表示	表示の意味
	しなければならぬことを告げるものです。
	してはいけないことを告げるものです。

天災や人災、不測の故障などで生じた損害につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますので、予めご了承ください。

警告

■使用環境・条件

本製品を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。
This product is permitted for use in Japan only.

本製品を人命救助などの目的で使用して、万一、故障・誤動作などが原因で人命が失われることがあっても、製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

本製品を、または他の無線機とともに至近距離で複数台使用しないでください。お互いの影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。

本製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じても製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

指定以外のオプションや他社のアクセサリ製品を接続しないでください。故障の原因となります。

自動車などの運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。
 運転者が使用するときは車を安全な場所に止めてからご使用ください。携帯型無線機を運転者が走行中に使用すると道路交通法違反で罰せられます。

電子機器の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。

内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺では使用しないでください。運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたしたり、各種機器が故障・誤動作する原因となります。

病院や医療機関では、医療機器などに支障がないか十分に確認の上、管理者の許可のもとご使用ください。
 無線機を使用したことによつて、いかなる誤動作・不具合が生じても、弊社は一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

■外郭保護性能について

付属の防水キャップまたは弊社指定の純正防水型アクセサリを本体に装着することで、IP55 相当の耐塵防水になります。ただし、常に水しぶきや海水、油脂、薬品がかかる環境や、鉄粉が飛散するような環境での使用で発生する不具合については保証しておりません。また、すべての製品を出荷前に検査してその性能を保証するものではない「相当品」ですので、水没、流水での洗浄は絶対におやめください。濡れたときは乾いた布で手早く拭き取り、電池を抜いて内部をよく乾燥させてください。防水素材は時間が経つと劣化しますので、弊社では外郭保護性能についても製品と同じ保証期間とさせていただいております。

特定小電力の通信制限について

特定小電力トランシーバーの通信に関する制限事項について説明します。

3分制限 (3分以上は連続で送信できません) ……………

10 秒前に警告音が鳴ります。通信時間が合計3分になると自動的に送信は停止します。中継通信の場合も連続した中継動作が3分を越えするとタイムアウトします。

注意 3分の通信時間制限により、自動的に通信が停止した後は、約2秒たたないと次の送信はできません。

キャリアセンス (受信中は送信できません) ……………

一定の強さ以上の信号を受信しているときは [PTT] キーを押しても送信できません。受信中に [PTT] キーを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことをお知らせします。

注意 ガイドンス音量を OFF に設定しているときは、アラーム音は鳴りません。

付属品と取り付け方

付属品をご確認ください

- ベルトクリップ (EBC-55) 取扱説明書 (本書) 保証書

注意 保証書ご購入の日付が記載されていないときは領収書やレシートを保証書といっしょに保管してください。ご購入日が証明できる書類がないと保証サービスは無効となりますのでご注意ください。

ベルトクリップの取り付け、取り外し……………

本機のベルトクリップは出荷状態で取り付け済みです。取り外すときはロックレバーを押さえながら下方向へスライドさせます。

注意 ベルトクリップは消耗品です。保守部品 (EBC-55) として販売しています。お買い求めの際は販売店にご相談ください。



■トランシーバー本体の取り扱いについて

本製品は調整済みです。特定小電力トランシーバーをユーザーが改造、変更することは法律で禁止されています。

イヤホンを使用するときはあらかじめ音量を下げてください。聴力障害の原因となることがあります。イヤホンを耳に装着する際、静電気が放電することがありますのでご注意ください。

■充電器の取り扱いについて

指定以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
 充電器の AC プラグのコードをタコ足配線しないでください。加熱・発火の原因となります。

めれた手で充電器の AC アダプターに触れたり、抜き差ししないでください。感電の原因となります。

近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

本製品は防塵仕様ではありません。引火性ガスが発生する場所では使用しないでください。静電気などによる発火事故の原因となります。

■異常時の処置について

以下の場合、すぐ本体の電源を OFF にして、充電器をご使用の場合は、AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。異常な状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または弊社サービス窓口にご連絡ください。お客様による修理は、違法ですから、絶対にお止めください。

■落としたり、ケースを破損したりしたとき
■内部に水や異物が入ったとき
■AC アダプターのコードが傷んだとき (芯線の露出や断線など)

電が鳴り出したら安全のため本体の電源を OFF にし、充電器をご使用の場合は AC アダプターを AC コンセントから抜いて、ご使用をお控えください。

■本体が熱くなった時、煙が出たとき。

■異音や異臭がしたとき。

■保守・点検

本体や充電器のケースは、開けないでください。けが・感電・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご依頼ください。

注意

■使用環境・条件

ケースが変形する原因となりますので直射日光が当たるなど高温になる場所での使用、保管は避けてください。

イヤホンマイクなどが汗や水で濡れたときは拭き取ってください。水分がケーブルを伝って機器内部へ入ると故障の原因となります。

電池の入れ方

- カバーを開ける
ロックを外してカバーを開けます。
- 電池を入れる
+/- の表示に従って単三形乾電池 3本をセットします。
- カバーを閉める
カバーを閉めロックをかけます。

注意 種類が異なる電池や、新品と古い電池を混ぜて使用しないでください。市販の単三形充電池はご使用になれません。しばらく使用しないときはトランシーバーから電池を取り外してください。電池を入れたままで液漏れすると修理ができなくなります。電池カバーは保守部品として販売しています。お買い求めの際は販売店にご相談ください。(電池カバー一品番：ADBCH3 (白)、ADBCH5 (黒))

バッテリーおよび充電器 (別売)

バッテリー、充電器および関連するアクセサリは下記のとおりです。

- リチウムイオンバッテリー EBP-70 (3.7V/1000mAh)
- ツイン充電器セット EDC-158A
- ツイン連結スタンド EDC-158R
- 連結充電用 AC アダプター EDC-162
- シングル充電器セット EDC-184A

空のリチウムイオンバッテリーを満充電するのに要する時間は約 2.5 時間です。充電器の動作温度範囲は 0 ～ +40℃です。

注意 別売のリチウムイオンバッテリーは出荷時には十分に充電されていません。お買い上げ後に満充電にしてからご使用ください。弊社の充電器は、対応する弊社製品専用です。市販の充電池を充電することはできません。充電するときはトランシーバーの電源を切ってください。電源を入れたままだと満充電にならないことがあります。

注意 安全のためリチウムイオンバッテリーを、窓際や車内など直射日光により高温になる場所には放置しないでください。リチウムイオンバッテリーは充電回数や使用状態の如何にかかわらず経年劣化する性質があります。安全にご使用いただくため 3 年程度を目処に新品への交換をお勧めします。

注意 本機はニッケル水素バッテリー EBP-25NH および充電器セット EDC-109J、EDC-115 をご使用になれません。

テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。

湿度の高い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

グループトーク機能を使用する際、特定の番号において異なる機種との間で通話が途切れる場合があります。このような時は違う番号を選んで通話をお試しください。これはグループトーク機能に使われるトーン信号の精度が機種によつてばらつくことによる相性のためであり故障ではありません。

■トランシーバー本体の取り扱いについて

アンテナ先端などの突起物が、目や鼻など傷つきやすい部位に当たらないようご注意ください。

スポンのポケットに入れてください。座ったときなどに無理力が加わり故障する原因となります。

本製品は使用していないにもかかわらず長待機電流により電池が放電し、長期間放置していると使用できなくなることがあります。長期間ご使用にならないときは安全のため本体の電源を切り、電池を取り外してください。

■充電器の取り扱いについて

充電器の AC アダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。必ず AC アダプターを持って抜いてください。

充電器の AC アダプターを熱器具に近づけないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

充電器を長期間ご使用にならないときは安全のため AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。

リチウムイオンバッテリー EBP-70 の充電 (EDC-158A/EDC-184A) ……………

- リチウムイオンバッテリー EBP-70 を極性に注意してトランシーバーに装着します。
- AC アダプターのプラグを充電スタンドのジャックに接続します。
- AC アダプターを家庭用コンセント AC100V に接続します。
- トランシーバーを充電スタンドの、前後いずれかのポケットに挿入します。EDC-158A は 2 台同時に充電することもできます。
- 充電が開始され赤色ランプが点灯します。
- 充電が完了すると赤色ランプが消灯します。EDC-184A では緑色ランプが点灯します。
- バッテリーパック単品で充電することもできます。バッテリーパックの極性に注意して充電スタンドに装着してください。

注意 充電ランプの動作について
バッテリーが満充電に近いと充電開始を知らせるランプが点灯しないことがあります。このようなときは、しばらくトランシーバーを使って減電池表示が出たら充電してください。これは過充電を防止する回路が動いているためであり、故障や異常はありません。

充電器の前方のポケットではランプが点灯するが後方のポケットでは点灯しない、あるいはその逆の動作をする場合も、しばらくトランシーバーを使って電池を使い切ってから充電してください。
充電開始を検知する回路の個体差により、このような動作をすることがありますが異常ではありません。

リチウムイオンバッテリーは定格電圧 (50% 充電程度) での保存が推奨されています。特に電池が減ったまま保存すると数ヶ月で充電できなくなることがありますので、定期的に通電して補充充電するメンテナンスをおこなってください。

注意 充電器にトランシーバーを挿入してもうまく充電しないときは、充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。

直射日光が当たる場所や車のヒーターの吹き出口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

インターナーを搭載した電子機器や照明器具などの周辺、ハイブリッドカーや電気自動車などの車内や周辺ではノイズの影響で電波障害を受けることがあります。

磁気カードを無線機器の近くに置かないでください。磁気カードのデータが消去されることがあります。

マイク部にシール類を貼らないでください。相手に音声が入聞こえなくなります。

■保守・点検

衝撃や水分、異物の混入などによる故障の場合は、保証対象外になります。

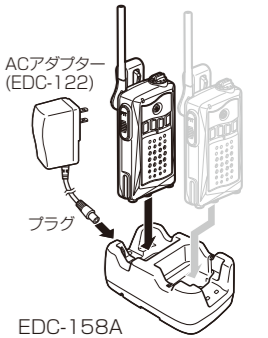
■保守・点検

汚れた場合は柔らかいきれいな布で乾拭きしてください。
ペーパー、シンナー、アルコール、洗剤などを使うと外表や文字が変質する恐れがあります。洗浄剤などを直接無線機に吹き付けしないでください。機器内部に浸透し故障の原因となります。

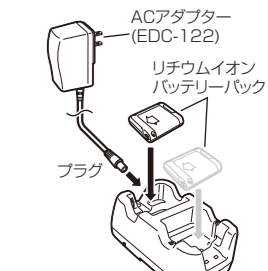
お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源を OFF にして、充電器をご使用の場合は、AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。

オプションのマイクやイヤホンをお使いのときは、ケーブルをときどき濡らせた布で拭いてください。汗や皮脂はケーブルを劣化させる原因となります。

技術基準適合証明ラベルおよび製造番号ラベルをはがさないでください。製造番号がわからないと保証サービスをお受け頂くことができません。



EDC-158A



EDC-158A

DJ-CH3 セットモードについて

DJ-CH3 特定小電力トランシーバーは用途に合わせて、より使いやすくするためにカスタマイズすることができます。ここでは付属の取扱説明書で説明しきれていないセットモードの内容を補完します。

本資料の使用に関して...

本資料の内容は予告なく変更することがあります。

ソフトウェアのバージョンによっては、格納音声を変更することがあります。

本資料の転載・複製に関しましては、弊社の許諾が必要です。

弊社は本資料に記載されている情報等の使用に関して、弊社もしくは第三者が所有する知的財産権、その他の権利に対する保証、実施、使用を許諾するものではありません。

本資料に記載されている情報等の使用に起因する損害、第三者所有の権利に対する損害に関し、弊社は一切その責任を負いません。

【重要なご注意】

同梱の説明書にあるチャンネルやグループ番号などを自分で行っていない方は、このセットモード設定も変更しないでください。本機は設定を表示する液晶がないので、設定状態が分かりにくくなっています。設定を変更されたり、リセットされたりした場合は弊社カスタマーサービスに「もとに戻したい」と相談されても、もとの状態が分からないためサポートができません。

管理者が居なくなった、誰が設定したか分からない、というときは面倒でも全員の無線機をリセットして、新たに同じ設定に合わせこむのが一番早くて確実な方法です。

[セットモード操作]

Fキーを押しながらGRキーを短押しします。ランプが黄色点滅しセットモードになります。

「セットモード」と鳴った後に、「1(No.)」→「電池選択」→「乾電池」が鳴ります。

項目の選択はGRキーを押すと順送りし、Fキーを押すと逆送りします。

設定値の切り替えは▽/△キーを押します。

選択した番号、項目、設定値を音声でお知らせします。

PTTキーを押すと設定が完了し、受信待ち受けに戻ります。

セットモードで1分間キーを操作しないと、自動的に受信待ち受けに戻ります。

[セットモード項目]

1. 電池選択

設定値 乾電池 / リチウム電池 (初期値 乾電池)

オプションのリチウムイオンバッテリーパック EBP-70 を使用する場合には、減電池お知らせを正しくさせるためにリチウム電池を選択してください。この設定を行わないと、減電池お知らせが不正確になります。

2. コンパンダー（雑音低減）

設定値 OFF / ON（初期値 OFF）

コンパンダー（雑音低減）は通話中に聞こえる「サー」というかすかなバックノイズを低減します。ただしコンパンダー機能のないトランシーバーと通話する場合は必ず OFF にしてください。かえって音質が悪くなります。

3. PTT ホールド（送信保持）

設定値 OFF / ON（初期値 OFF）

PTT キーを1度押すと送信状態を継続し、もう1度押すと待ち受け状態になります。この機能を使用すると送信中に PTT キーを押し続ける必要がなくなります。

4. VOX（音声検知送信）

設定値 OFF / Low / High（初期値 OFF）

PTT キーを押さなくても自動的に送受信を切り替えることができる機能です。マイクに音声が入れば送信、音声が無くなれば待ち受け（受信）状態になります。

Low : VOX 感度 小（大きな音で反応します。周りがうるさくて黙っていても送信してしまうときにお勧めします）

High : VOX 感度 大（小さな音で反応します。周りが比較的静かなときはこちらをお試しください）

注）・VOX 機能は一部のオプションマイクが使用できません。取扱説明書のオプション一覧表をご覧ください。

・VOX 感度を Low に設定しても、音声以外で送信してしまうような騒音の大きい場所では、この機能はご使用になれません。

・VOX 運用中は音声入力から送信開始までに遅延が起るため、音声の始めが途切れる場合があります。「了解です、～」や「はい、～」など、途切れても支障がないような言葉から話し始めると通話しやすくなります。

【メモ】無線機管理者がカスタマイズのために使う「拡張セットモード」で VOX での送信保持時間を変更できます。ウェブサイトのダウンロードページ、特定小電力無線のコーナーに「拡張セットモード説明書」を掲載しておりますのでご覧ください。ただし管理者以外の方が設定を変えて不具合が出ると自分ではもとに戻せなくなり、弊社サービスセンターでも対応できないことがあります。自分が設定したものでないときは、まず管理者にご相談ください。

5. コールバック（音声モニター）

設定値 OFF / ON（初期値 OFF）

コールバック（音声モニター）機能を ON に設定すると、送信中にイヤホンから自分の声が聞こえ話しやすくなります。

6. エンドピー（送信終了音）

設定値 OFF / ON（初期値 OFF）

PTT キーを離したときに「ピッ」と鳴って通話相手に送信が終わったことを伝える機能です。

【メモ】エンドピー（送信終了音）は送信側から発せられるため、機能を ON/OFF するときは送信側機器を設定してください。

7. 秘話

設定値 OFF / ON（初期値 OFF）

秘話機能を使う（ON）と「モガモガ」した声になって通話内容を他人に聴かれにくくなります。ただし他の無線機でも同様の設定をすれば簡単に聴くことできるので、セキュリティは非常に低いものです。

【メモ】無線機管理者がカスタマイズのために使う「拡張セットモード」で秘話の周波数が変更できます。ウェブサイトのダウンロードページ、特定小電力無線のコーナーに「拡張セットモード説明書」を掲載しておりますのでご覧ください。ただし管理者以外の方が設定を変えて不具合が出ると自分ではもとに戻せなくなり、弊社サービスセンターでも対応できないことがあります。自分が設定したものでないときは、まず管理者にご相談ください。

8. ベル（呼び出しお知らせ）

設定値 OFF / ON（初期値 OFF）

呼び出されたことをランプとベル音でお知らせします。

呼び出された場合、何かのキーを押すまで待ち受け状態のランプが緑色点滅になります。

【メモ】一定時間通話が途切れた後に受信したとき 10 秒間ベルが作動します。

9. ガイダンス音量

設定値 OFF / Low / High（初期値 Low）

本機から鳴るブープ音と音声ガイダンスの音量を調整できます。

OFF : すべてのビーブ音（キー操作音、各種アラーム音、ベル音）と音声ガイダンスが鳴らなくなります。ただしセットモード中と電源キー短押しでのチャンネルとグループのお知らせはガイダンスが鳴ります。

本機は液晶がないため、ガイダンスを OFF にするとどのような状態になっているかわかりませんので、ご注意ください。

Low : 初期値の音量です。

High : 初期値の Low 設定時よりも、すべてのビーブ音と音声ガイダンスの音量が大きくなります。

注) イヤホンを使用した状態でガイダンス音量を「High」に設定すると、大きな音で耳を痛める可能性がありますのでご注意ください。

10. 送信出力

設定値 : High (10mW) / Low (1mW) (初期値 High)

送信時の送信出力を変更することができます。

Low : 1mW 出力 初期値の High 設定時よりも送信出力が小さくなります。

High : 10mW 出力 送信出力が大きくなり、Low 設定時よりも広いエリアでの通信ができます。

【メモ】送信出力を Low に設定すると通話距離は短くなりますが、中継ビジネスチャンネル (b12~b29) に設定時、通話時間を 3 分ごとに 2 秒間強制的に持ち受け状態に戻される 3 分制限がない連続通話ができます。

送信出力を High に設定時や、送信出力 Low で単信チャンネル (L01~L09、b01~b11) や中継レジャーチャンネル (L10~L18) に設定時、通話時間を 3 分経過すると自動で 2 秒間強制的に待受け状態に戻されますが、PTT が押されたままでチャンネルが空いていれば再送信します。

11. 緊急通報機能

設定値 : OFF / ON (初期値 : OFF)

緊急通報機能を ON に設定すると GR キーを 3 秒間押し続けることで内蔵スピーカとイヤホン装着時はイヤホンから緊急通報音が鳴ります。

【メモ】緊急通報機能はキーロック中でも有効です。

緊急通報音が鳴っているとき、同じチャンネル (同じグループ) の無線機に対して緊急通報音が送信され、通信相手に注意喚起することができます。緊急通報音を停止させたい場合は、PTT キーを 1 回押すことで停止されます。

12. オートパワーオフ

設定値：OFF / 30分 / 1時間 / 1時間30分 / 2時間（初期値：OFF）

電源の切り忘れを防ぐ機能です。設定した時間、キー操作されることなく経過するとピープ音でお知らせして、自動的に電源が切れます。音声などを受信してもタイマーはリセットされません。

13. 受信音ミュート（接客モード）

設定値：OFF / ハンド / タッチ / ボイス（初期値：OFF）

イヤホンマイクを装着時に、ワンタッチまたは自分の声で受信音をミュート（音量1）にする機能です。ミュート解除後は、設定された音量値に戻ります。

ハンド：イヤホンマイクのPTTキーを短押しすることでミュートがかかります。解除方法は同じようにPTTキーの短押しで解除されます。

タッチ：イヤホンマイクを軽くたたくことでミュートがかかります。解除方法は同じようにマイクを軽くたたくことで解除されます。

ボイス：マイクに声が入るとミュートがかかります。声が入っている間はミュートを保持し、声がなくなると解除されます。

注)・タッチとボイスでは、バッテリーセーブ機能が働かないため電池の消耗が早くなります。

- ・受信音ミュートはVOX機能、PTTホールド機能を設定時は使用できません。
- ・ミュート状態で何かのキーを押すとミュートが解除されます。
- ・ハンドとタッチではミュート解除忘れを防ぐため、一定時間が経つと自動的にミュートが解除されます。
- ・ハンド設定時は送信開始までに遅延が起るため、音声の始めが途切れる場合があります。「了解です、～」や「はい、～」など、途切れても支障がないような言葉から話し始めると通話しやすくなります。
- ・タッチとボイスではVOX機能が使えない一部のオプションマイクが使用できません。取扱説明書のオプション一覧表をご覧ください。
- ・ボイスは音声以外で作動してしまうような騒音の大きい場所では、使用できません。

【メモ】無線機管理者がカスタマイズのために使う「拡張セットモード」でタッチとボイスの感度レベルと、全設定のミュート保持時間が変更できます。ウェブサイトのダウンロードページ、特定小電力無線のコーナーに「拡張セットモード説明書」を掲載しておりますのでご覧ください。ただし管理者以外の方が設定を変えて不具合が出ると自分ではもとに戻せなくなり、弊社サービスセンターでも対応できないことがあります。自分が設定したものでないときは、まず管理者にご相談ください。

DJ-CH3 セットモードの拡張について

本機には、特定の環境やニーズに合うようカスタマイズできると便利な項目を拡張セットモードに持たせております。意味を理解して設定しないといつもとまったく違う動きをしたり、一部の機能が使えなくなったり、音が悪くなったり、電池の減りが早くなったりと、「故障と勘違い」されることがあるため、あえて製品同梱の説明書には記載していません。まず説明をご覧になり、各機能をよくご理解したうえで、操作してください。

これら拡張メニューはパラメータ変更後に再びメニュー表示を隠すことと、完全初期化（通常のセットモード、チャンネル設定なども含めたすべてを工場出荷状態に戻すリセット）が可能です。増えた項目は通常セットモード項目の後ろに No. 14 から続けて追加されます。

本資料の使用に関して...

本資料の内容は予告なく変更することがあります。

ソフトウェアのバージョンによっては、格納音声を変更することがあります。

本資料の転載・複製に関しましては、弊社の許諾が必要です。

弊社は本資料に記載されている情報等の使用に関して、弊社もしくは第三者が所有する知的財産権、その他の権利に対する保証、実施、使用を許諾するものではありません。

本資料に記載されている情報等の使用に起因する損害、第三者所有の権利に対する損害に関し、弊社は一切その責任を負いません。

【重要なご注意】

もし、ユーザーグループの中に無線機システムの管理者がいる場合、拡張セットモードやりセット操作は絶対にしないでください。リセットや設定変更をすると通信できなくなることがあります。弊社のカスタマーサービスに「もとに戻したい」と相談されても、もとの状態が分からないためサポートができません。

管理者が居なくなった、誰が設定したか分からない、というときは面倒でも全員の無線機をリセットして、新たに同じ設定に合わせこむのが一番早くて確実な方法です。

【セットモード拡張の方法】

- 1: F キーを長押しし、キーロックを掛けます。実行後は「ププププッ」とビープ音が鳴ります。（簡易・通常キーロックのどちらの方法でも可）
- 2: 続けてグループキーを5回連続で押します。押した後は「ププッ」とビープ音が鳴ります。10秒以内に5回押さないと有効になりません。5回連続押しが有効であれば「ピピッ」とビープ音が鳴ります。
- 3: 自動的にキーロックが解除されます。
- 4: セットモードに入ると下記のメニューが追加されています。
 - * 変更した値を保存して拡張メニューを隠すには、上記1~4の操作を繰り返します。
 - * チャンネルや通常のセットモードの設定も含めて全てを工場出荷状態まで初期化するには、電源を切った後電源キー、▽キー、F キー、GR キーの4つを押した状態で電源を入れ、5秒間押し続けます。初期化が成功すると、ランプが白色点滅し、「初期化しました」のガイダンスと共に全ての設定がリセットされ、工場出荷状態に戻ります。

- * 説明書に記載のリセット（初期化）方法では拡張セットモードは閉じず、設定した値も初期化されません。ただし拡張セットモード以外の部分は工場出荷状態に戻ります。

[拡張セットモード項目]

14. イヤホン断線検知

設定値 OFF / ON（初期値 ON）

本機は起動時に自動的にイヤホン断線検知を行います。インピーダンスが高いなど、イヤホン/マイク端子へ接続する機器によってはまれに断線検知が誤動作することもあり、OFFが選べるようになっています。

15. バッテリーセーブ

設定値 OFF / ON（初期値 ON）

待ち受け状態が5秒以上続くと自動で内部電源を断続的に切って、電池の消費を抑える機能です。ただしわずかですが通話の始めの部分が途切れる原因の1つになる場合があります。

注) OFFにすると頭切れはほぼなくなります。電池の消費がかなり早くなります。頭切れがあると安全にかかわるような現場以外、通常はONにしておくことをお勧めします。

16. AGC（オートゲインコントロール）設定

設定値 OFF / ON（初期値 ON）

マイクに大きな音が入ったときに、声が歪むのを緩和するのがAGC（オートゲインコントロール）です。

OFFに設定することで、他機種と混在させて使うときに感じる音質の相性問題を解決できることがあります。不用意に設定を変更すると逆に音質が悪くなることもありますのでご注意ください。

注) 本機と同じ機種だけで通話されるときは設定を変えないでください。

17. PTT オン/オフ設定

設定値 OFF / ON（初期値 ON）

送信を禁止し受信専用にする機能です。OFFに設定するとPTTキーを押しても送信できなくなります。連絡を聞くだけの「受令機」として使うときの設定です。

注) VOX運用時と緊急通報の警報は、送信禁止になりません。

18. トーンマージン設定

設定値 NOL(OFF) / SP(ON) (初期値 NOL(OFF))

グループトークでのトーン判定精度を調整できますが、本機と同じ機種だけで通話される場合は設定を変えないでください。本機と異なる機種と混在させて使ったときに、同じグループ番号に設定しているのに通話できない場合はまずグループ番号を2桁の大きな数字にしてみてください。

それでも上手く動かないときや、大きな番号に設定できない機種の場合は、この設定値をSP(ON)に設定してください。ただし近い番号のグループ番号を誤判定して他人の通話が聞こえたり、受信の終わりに「ザッ」音（テールノイズ）が聞こえることがあります。

19. グループ種類切り替え設定

設定値 トーン / コード1 / コード2 (初期値 トーン)

本機のグループトーク機能は一般的な番号方式（トーンスケルチ）の他、DCS（デジタルコードスケルチ）に切り替えることができます。グループ種類切り替えをコード1、コード2に設定し、通常のグループトークと同様に待ち受け（受信）状態でGRキーを押すことでDCS番号を設定できます。グループ番号の変更はトーンスケルチと同様、▽キーを押しながら電源を入れて選択するか、待ち受け（受信）状態でGRキーを押しながら▽/△キーを押して変更してください。

コード1：01～83の83通りのコード番号から選択

コード2：Cd017～Cd754の108通りのコードから選択

注) グループ番号の変更はあらかじめグループ設定（GRキー短押し）を有効にする必要があります。

20. スケルチレベル

設定値 0 ～ 5 (初期値 3)

スケルチのレベルを0～5の範囲で調整します。待ち受け時になる「ザー」というノイズを消す機能で、「0」で解放（ザーが鳴りっぱなし）です。レベルを大きくし過ぎるとノイズでスケルチが開きにくくなるかわりに、弱い信号は受信しなくなります。反対に小さくし過ぎると弱い信号でも受信しやすくなるかわりにノイズでスケルチが開きやすくなります。電波環境でノイズが変わることがあるので微調整できるようになっています。

【メモ】グループ機能設定時はレベルを「0」にしてもノイズが出ません。

21. キーロック時間

設定値 1 ～ 3（初期値 2 秒）

キーロックするときのキーを押し続ける時間を設定します。時間を長くすればキーロック設定の誤動作が少なくなります。

22. マイク音量調整

設定値 1 ～ 7（初期値 4）

通話時の癖やアクセサリマイクのゲインなどの都合や、人によってトランシーバーに入る声量は異なります。このため、音が小さい（話す声が小さい＝レベルを大きくする）、音が歪む（声が大き＝レベルを小さくする）などの場合に調整できるようになっています。他社製のマイクをお使いになるときもレベル調整が必要になる場合があります。設定を間違えると声が小さくなったり歪んだりしますのでご注意ください。

23. オプション設定

設定値 OFF / OUT / ALL（初期値 ALL）

4 極プラグのオプションイヤホン、スピーカーマイクなどを使うときに、本機 PTT と本機マイクの有効/無効が選べます。使用するアクセサリに合わせて設定してください。

OFF：本機 PTT 無効・本機マイク無効（オプションの PTT とマイクのみ有効）

OUT：本機 PTT 有効・本機マイク無効（マイクは外部マイクのみ有効、PTT は両方が有効）

ALL：本機 PTT 有効・本機マイク有効（イヤホンだけを使うときの設定）

注) OUT、ALL でスピーカーマイクを使うとき、本機 PTT を押してもスピーカーマイクからの音声を送信することはできません。スピーカーマイクを使用する際はスピーカーマイクの PTT を押して送信してください。

24. LED 輝度調整

設定値 OFF / Low / High（初期値 High）

ランプ（LED）の明るさを変更できます。

High：明るい

Low：暗い

OFF：消灯

注) 設定値を OFF にした場合、ランプは一切発光しなくなりますのでご注意ください。

25. 緊急通報時間設定

設定値 10 ～ 60（初期値 10 秒）

通常は緊急通報のアラーム鳴動時間と送信時間は 10 秒に設定されていますが、この時間を 10 秒単位（最大 60 秒）で変更できます。

26. 秘話通信周波数

設定値 2.7 ～ 3.4（初期値 3.4kHz）

秘話のキャリア周波数を設定します。初期値の周波数に設定したまま、秘話機能を ON にすると通信内容を他人に聴かれやすくなります。秘話に使う周波数を変えることで聴こえにくくします。通話したいグループ全員を同じ周波数に揃えてください。

27. 減電池アラーム設定

設定値 OFF / ON（初期値 ON）

減電池時に乾電池のときは「電池を交換してください」、リチウム電池のときは「充電してください」とお知らせします。お知らせが不要なときは OFF にしてください。

28. VOX ディレイタイム（送信保持時間）

設定値 0.5 / 1 / 2 / 3（初期値 1 秒）

VOX で送信したときに、息継ぎしても途切れないよう初期値では 1 秒間黙っていても送信状態を保持します。この時間を 0.5 秒～3 秒に変更できます。送受信の切り替えを素早くしたいときに時間を短めにするると使い勝手が向上しますが、息継ぎなどですぐ送信が落ちることもあります。実験して確かめてからお使いください。

29. 中継接続手順

設定値 OFF / ON(AT2)（初期値 ON(AT2)）

中継動作自動接続手順を解除する機能です。接続タイミングを最適化する設定なので、中継器を使っていないときは変更する必要はありません。

30. 減電池自動オフ

設定値 OFF / ON（初期値 ON）

スイッチを切り忘れるなどで過放電させると、リチウム電池や乾電池の劣化や充電不良の原因になります。これを防ぐため電池の電圧が一定レベルまで低下すると自動的に電源を切ります。それでも待機電流は発生しているので、リチウム電池は取り出して保管してください。

OFF にすると電池を最後まで使い切ることができますが大きな差はありません。通常は ON でお使いください。

注) OFF にして使用する場合、電池の電圧が一定レベルを下回ったときに動作が不安定になることがあります。ご注意ください。

31. 受信音ミュートレベル

設定値 1 ~ 7 (初期値 4)

受信音ミュートのタッチ、またはボイスを使用時のマイク感度レベルを変更できます。オプションマイクのゲインや装着位置などの都合で、マイクから入る音量が異なります。このため、ミュートが利きにくかったり、ミュートが利きやすかったりする場合に調整できるようにしています。

ミュートが利きにくい場合は設定値を大きく、ミュートが利きやすい場合は設定値を小さくするなどして、実験して確かめてからお使いください。

注) 設定値を大きくしすぎると、誤動作するおそれがあるためご注意ください。

32. 受信音ミュート ディレイタイム

設定値 ハンド・タッチ : 5 / 10 / 15 / 30 / 60 (初期値 15 秒)

ボイス : 1 / 2 / 3 / 4 / 5 (初期値 3 秒)

受信音ミュートのミュート保持時間を変更できます。

ハンドとタッチではミュート解除忘れを防ぐための時間設定です。設定時間になると自動的にミュートが解除されます。ミュート保持時間を延ばしたい場合は、設定時間を長くしてください。

ボイスでは息継ぎしてもミュート解除しないようにするための時間設定です。ミュートの切り替えを素早くしたいときに設定を短めにするると使い勝手が向上しますが、息継ぎなどですぐミュートが解除されることもあります。実験して確かめてからお使いください。